

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年9月8日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部国際日本学科
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2024年9月6日
明治大学卒業予定年月	2026年3月
留学先大学について	
留学先国	オーストラリア
留学先大学	ニューサウスウェールズ大学(日本語名) The University of New South Wales(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/
留学期間	2024年1月～2024年8月
留学先大学で在籍した学年	3年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 2 月上旬～5 月上旬 2 学期: 5 月下旬～8 月下旬 3 学期: 9 月上旬～12 月上旬 4 学期: ~
学生数	64,053
創立年	1949

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (AU\$)	日本円	備考
授業料	0	0 円	
宿舍費	330\$	33000 円	一週間
食費	1,300\$	130,000 円	自炊
図書費	0	0 円	
学用品費	0	0 円	
携帯・インターネット費	25\$	2,500 円	月払い
現地交通費	850\$	85,000 円	電車(<input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	1,200\$	120,000 円	
被服費	300\$	30,000 円	
医療費	0	0 円	
保険費	1,000\$	100,000 円	形態:
渡航旅費	1,700\$	170,000 円	
ビザ申請費	730\$	73,000 円	
雑費	400\$	40,000 円	
その他		円	
その他		円	
合計	15425\$	1,542,500 円	約

渡航関連

渡航経路
往路 出発地: 羽田 目的地: シドニー 経由地: 復路 出発地: シドニー 目的地: 羽田 経由地:
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社:Qantas 料金:1700AUD ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴合計:
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:) <input type="checkbox"/> その他()
滞在形態関連
1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍等)
<input type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:) <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2*3)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4) 住居を探した方法:
Facebook
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
シェアハウスは見知らぬ人と暮らすことになるためプライベートの時間が少なくなりやすいです。一人部屋のシェアハウスや学生寮など様々な選択肢を検討してみてください。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

良好

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地で稼いだ収入を現地の口座で利用

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

値段が高いことを気にしなければ特になし

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
24 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
The Animal: Worker, Wild, Extinct?	動物:労働者、野生、絶滅?
科目設置学部・研究科	Faculty of Arts, Design and Architecture
履修期間	Term 2
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	in person(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 210 分が 1 回
担当教授	Simon Lumsden
授業内容	古代から現代に至るまでに動物がどのように人間社会に作用しているのか、どのような問題があるのかをテーマごとに議論する
試験・課題等	Critical Reading Reflection, Research Essays
感想を自由記入	人種の多様性をテーマとする授業は日本でも受講していたが、動物がどのように社会に影響を与えていてなにか改善されるべきなのかという新たな視点で知識を深めることが出来た。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Foundations of Politics and International Relations	政治と国際関係基礎
科目設置学部・研究科	Faculty of Arts, Design and Architecture
履修期間	Term 1
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	in person(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が1回
担当教授	Nick Apoifis
授業内容	現代の国際政治、関係を概念を通じた視点から考える授業
試験・課題等	Assignment, Essay
感想を自由記入	マルクス主義などの基礎を学び、授業ごとのトピックをチュートリアルで議論していく過程が面白いと感じました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Global Development	国際開発基礎
科目設置学部・研究科	Faculty of Arts, Design and Architecture
履修期間	Term 1
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	in person(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	Anthony Zwi
授業内容	世界開発が先進国を中心に行われているなか、発展途上国側での実際の状況や人権問題など様々な国際的問題を取り扱う授業
試験・課題等	Posts, Reflective Essay, Critical Essay
感想を自由記入	日本でも学んでいた内容をさらに深く学ぶことが出来たため、新たな知見を得ることが出来たと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Concepts of Asia	アジア概念論
科目設置学部・研究科	Faculty of Arts, Design and Architecture
履修期間	Term 2
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	in person(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	Mina Roces
授業内容	アジアの各地域の歴史を振り返り、矛盾点や固定観念による誤解などを解明していく授業
試験・課題等	Resposes to Readings, Historical site Exercise, Test, Major Essay
感想を自由記入	多文化で有名なオーストラリアの視点から改めてアジアの諸地域の歴史を振り返ることは非常に興味深い体験でした。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例:留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1月～3月	
	4月～7月	留学申し込み
	8月～9月	選考
	10月～12月	ビザなど
留学開始年	1月～3月	出発
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

オーストラリアは日本と同じで春学期から新学期の学校が多いためアメリカやカナダよりも選びにくい国ではありますが、多様な文化を体験できとても過ごしやすい国です。ビザ申請費や物価など、私の渡航時よりもすでに変動してしまっている部分もあるため多めに時間をとって準備をしてみると良いと思います。どの国に行っても多くの経験を得ることが出来ると思うので、渡航前に語学を伸ばして留学先では楽しむこと願っています。履修登録やおうち探しなど事前に考えておくことがあるため、時間に余裕を持って準備に取り組むことをおすすめします。がんばってください！